

2025年3月期第2四半期決算

2024年11月12日

CKD株式会社

証券コード6407

目 次

2025年3月期第2四半期決算

- 決算概要
- 投 資
- 株主還元
- 成長に向けた取組みの状況

決算概要

■ 実績

- ・ 前年同期比、増収増益

■ 業績予想

- ・ 2024/5/10発表から変更なし



經營成績

(單位：億円)

		25/3月期 上期予想	25/3月期 上期実績	予想対比	24/3月期 上期実績	前年同期比	
						増減額	増減率
売上高	全体	690	758	+ 68	665	+ 92	+ 14%
	自動機械	100	134	+ 34	72	+ 62	+ 87%
	機 器	590	624	+ 34	594	+ 30	+ 5%
営業利益 (営業利益率)		75 (10.9%)	92 (12.1%)	+ 17	61 (9.1%)	+ 31	+ 51%
経常利益		75	92	+ 17	61	+ 32	+ 52%
四半期純利益		50	63	+ 13	40	+ 24	+ 60%

財政状態

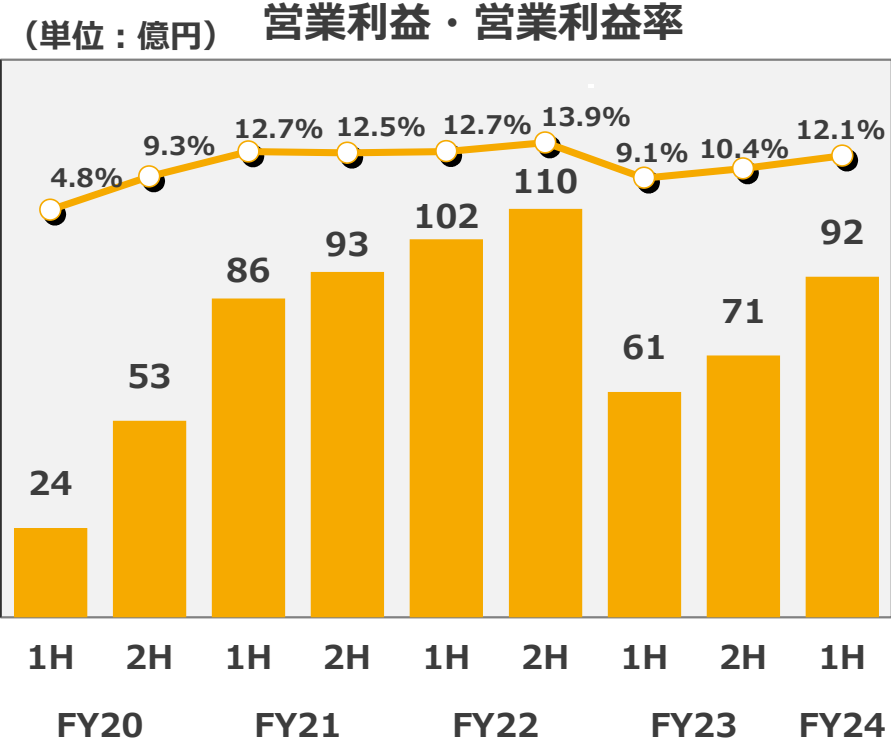
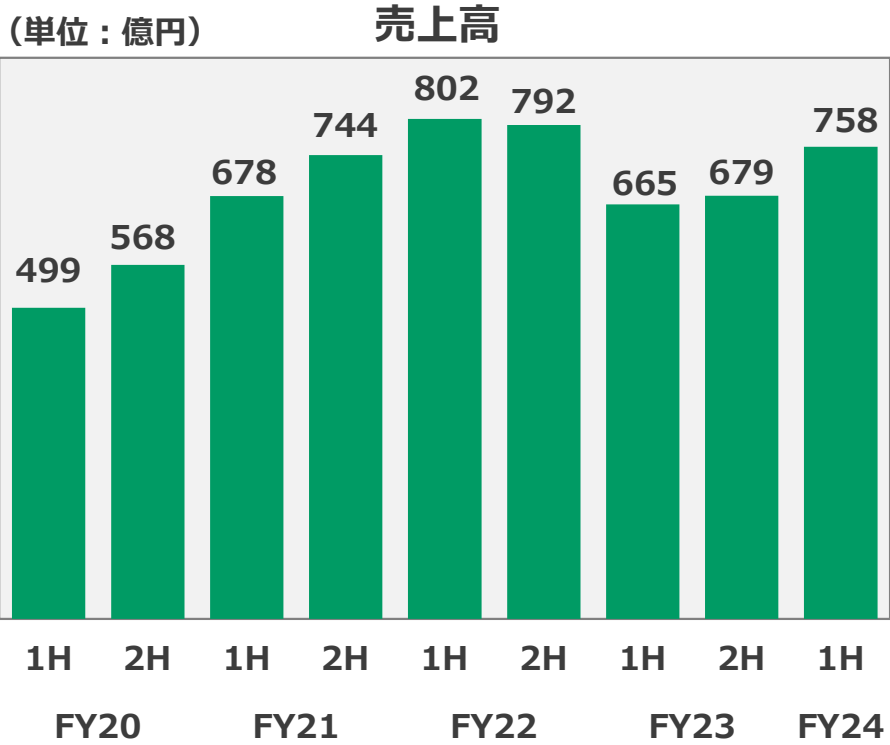
(単位：億円)

	2024年3月末	2024年9月末	前期末比	
			増減額	増減率
流動資産	1,243	1,279	+ 36	+ 3%
固定資産	840	812	▲ 28	▲ 3%
資産合計	2,083	2,091	+ 8	+ 0%
流動負債	430	431	+ 1	+ 0%
固定負債	362	345	▲ 17	▲ 5%
負債合計	792	776	▲ 16	▲ 2%
純資産	1,291	1,315	+ 24	+ 2%
自己資本比率	62.0%	62.9%	-	+ 1%

全社 業績推移

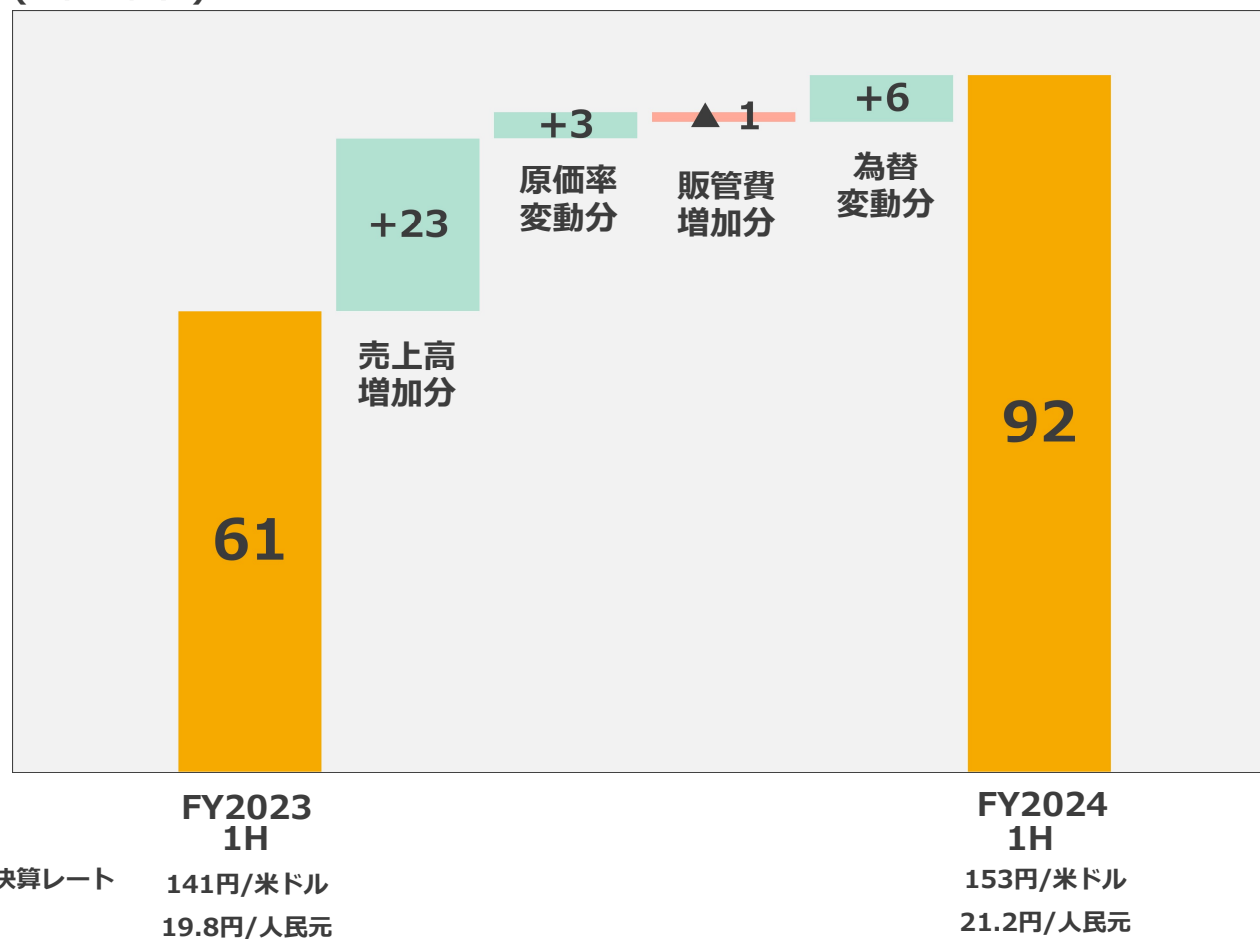
FY24	売上高	営業利益	営業利益率
上期実績	758億円 (+92)	92億円 (+31)	12.1% (+3.0)

() は前年同期比



営業利益変化要因

(単位：億円)

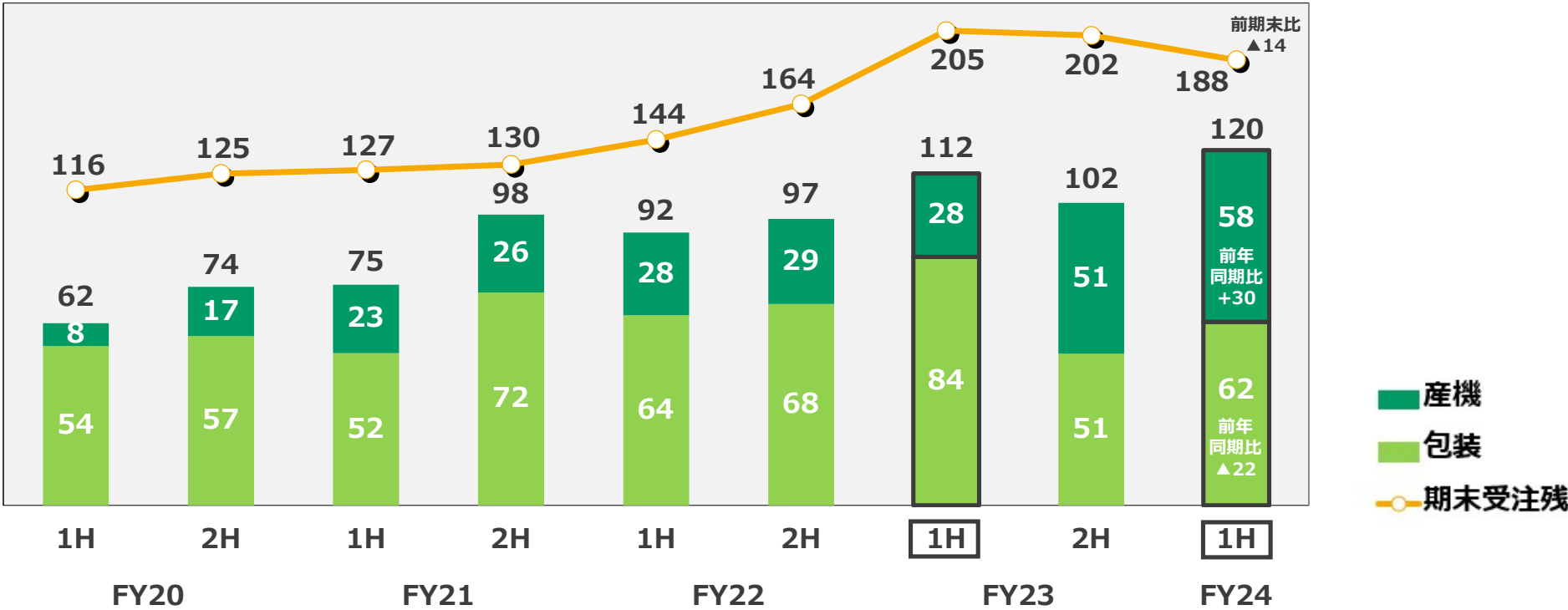


自動機械 受注実績・期末受注残高推移

FY2024	受注高
上期実績	120億円 (+8)

() は前年同期比

(単位：億円)

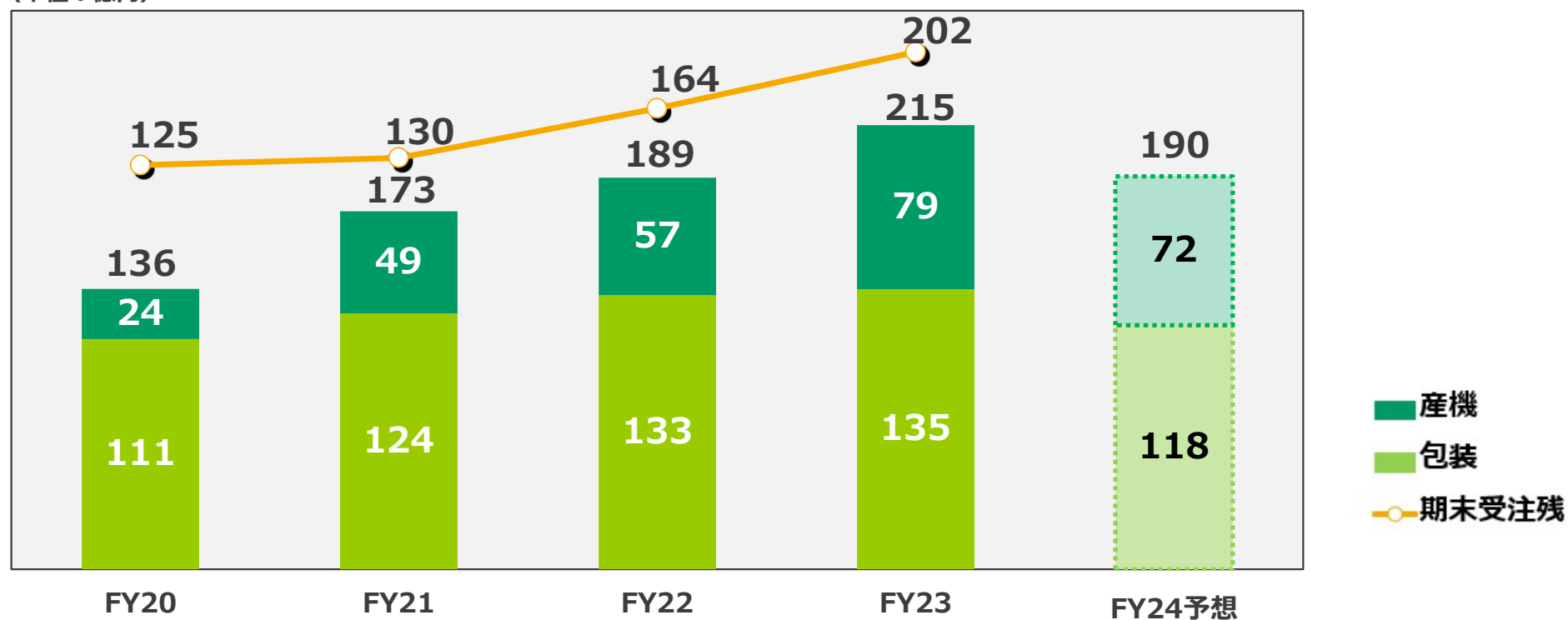


自動機械 受注予想 (2024/5/10発表から変更なし)

FY2024	受注高
通期予想	190億円 (▲25)

() は前年同期比

(単位：億円)

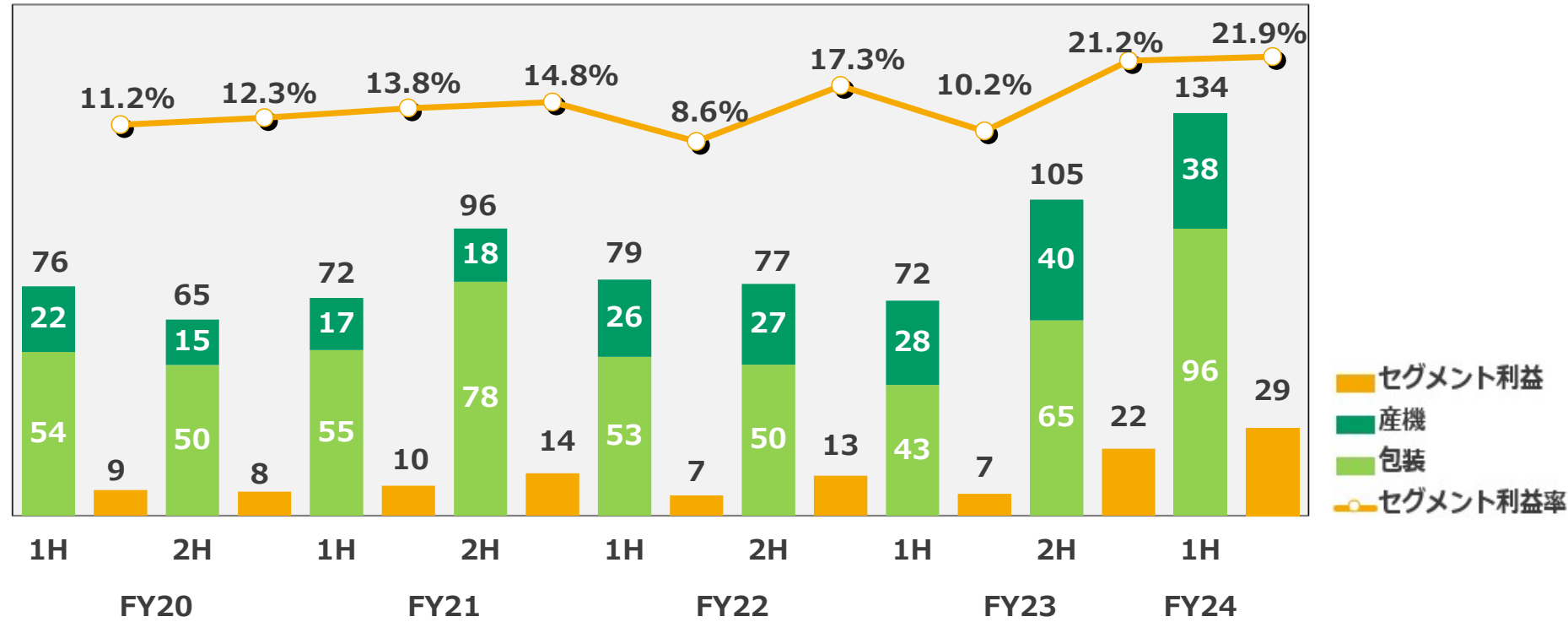


自動機械 業績推移

FY24	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
上期実績	134億円 (+62)	29億円 (+22)	21.9% (+11.6)

() は前年同期比

(単位：億円)

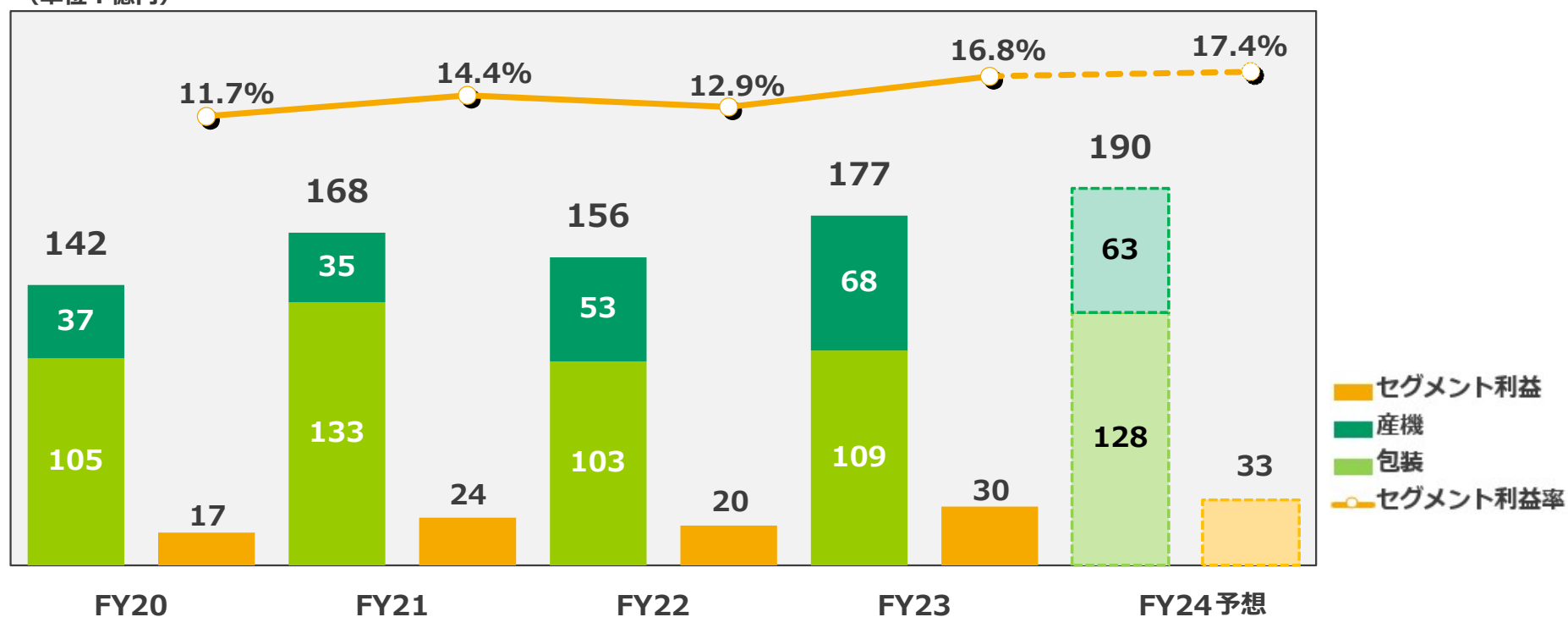


自動機械 業績予想 (2024/5/10発表から変更なし)

FY24	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
通期予想	190億円 (+13)	33億円 (+3)	17.4% (+0.6)

() は前年同期比

(単位：億円)

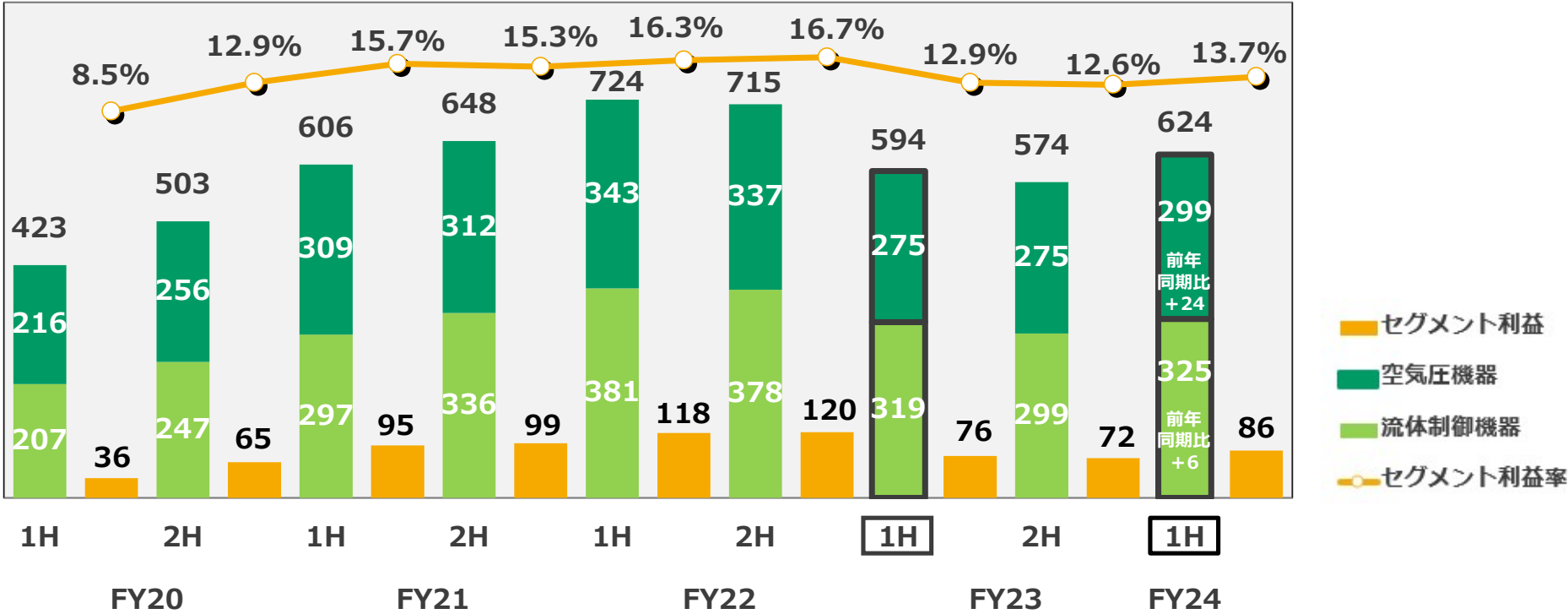


機器 業績推移

FY24	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
上期実績	624億円（+30）	86億円（+9）	13.7%（+0.8）

（）は前年同期比

（単位：億円）



2025年3月期 機器 市場別上期実績

※前年通期実績比 (単位：%)

国内主要業種別	1Q予想 (5/10)	2Q予想 (5/10)	1Q実績	2Q実績	上期実績	上期 期初予想
半導体	92		100	104	102	92
自動車	110		105	116	110	110
工作機	99		88	103	96	99
医療・医薬	106		112	94	103	106
FPD	99		124	202	163	99
二次電池	104		98	108	103	104
国内主要業種合計	95		101	106	103	95

海外主要地域別	1Q予想 (145円/ドル)	2Q予想 (145円/ドル)	1Q実績 (156円/ドル)	2Q実績 (153円/ドル)	上期実績 (153円/ドル)	上期 期初予想
東アジア	107		120	113	117	107
東南アジア	108		111	118	115	108
海外合計（欧米含）	107		116	113	115	107

前年通期実績比：(110～ 100～109 90～99 80～89 ～79)

2025年3月期 機器 市場別下期予想

※前年通期実績比

(単位：％)

国内主要業種別	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	上期対比
半導体	100	104	102		→
自動車	105	116	110		→
工作機	88	103	96		↗
医療・医薬	112	94	103		→
FPD	124	202	163		↘
二次電池	98	108	103		↗
国内主要業種合計	101	106	103		→
海外主要地域別	1Q実績 (156円/ドル)	2Q実績 (153円/ドル)	上期実績 (153円/ドル)	下期予想 (145円/ドル)	上期対比 (為替含)
東アジア	120	113	117		→
東南アジア	111	118	115		↗
海外合計（欧米含）	116	113	115		→

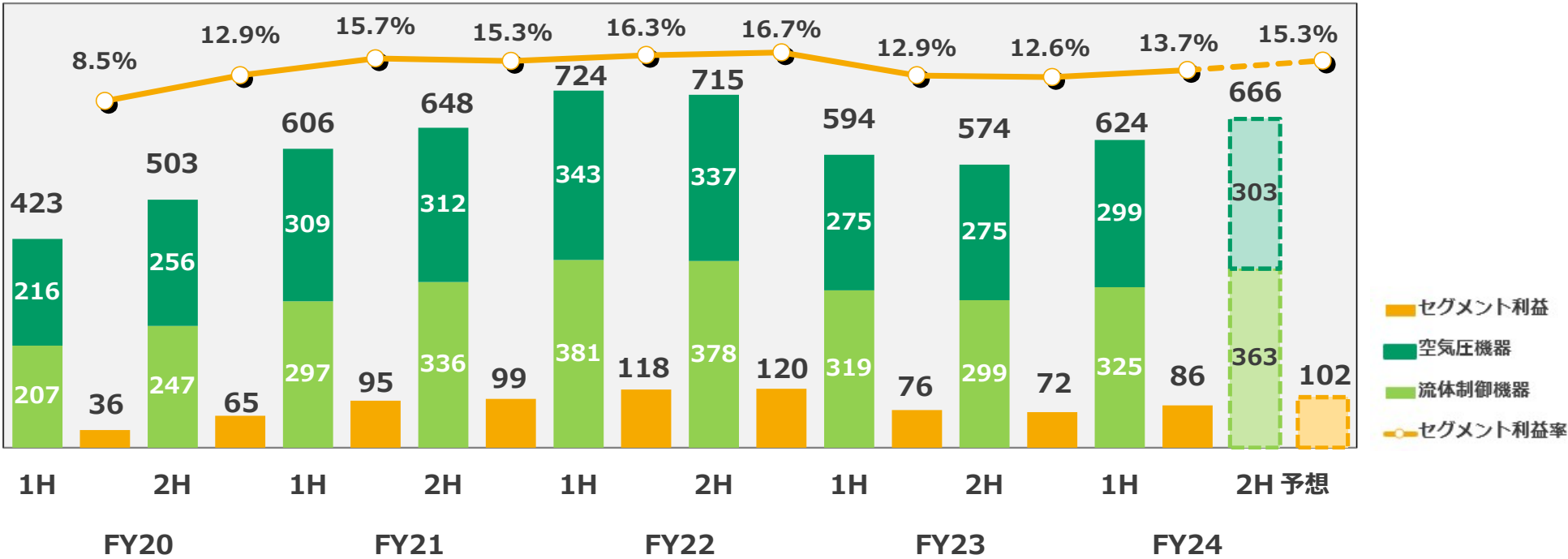
前年通期実績比：(110～ 100～109 90～99 80～89 ～79)

機器 業績予想 (2024/5/10発表から変更なし)

FY24	売上高	セグメント利益	セグメント利益率
下期予想	666億円 (+ 92)	102億円 (+ 30)	15.3% (+ 2.7)
通期予想	1,290億円 (+ 122)	188億円 (+ 40)	14.6% (+ 1.9)

() は前年同期比

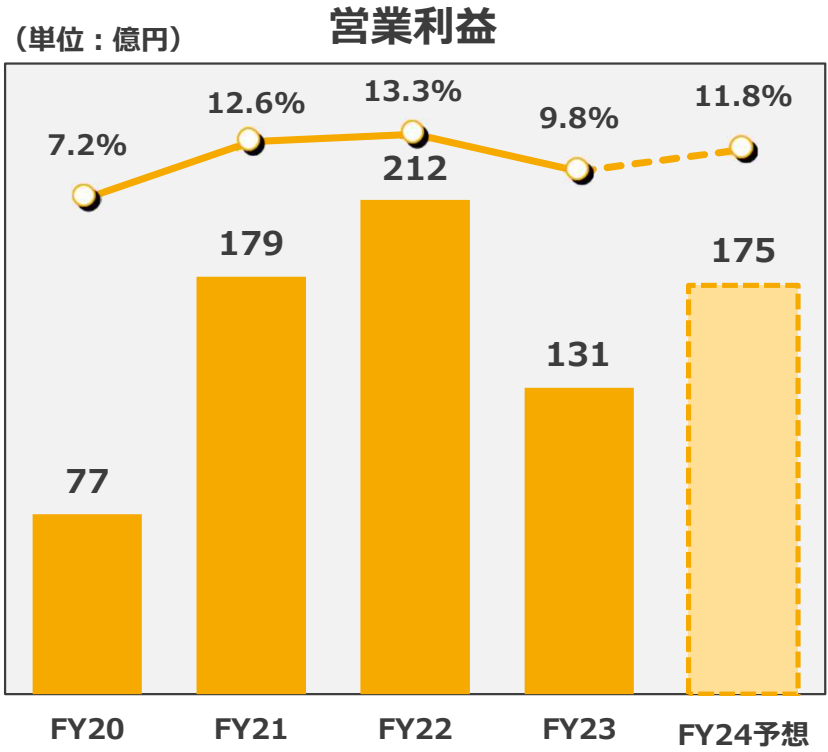
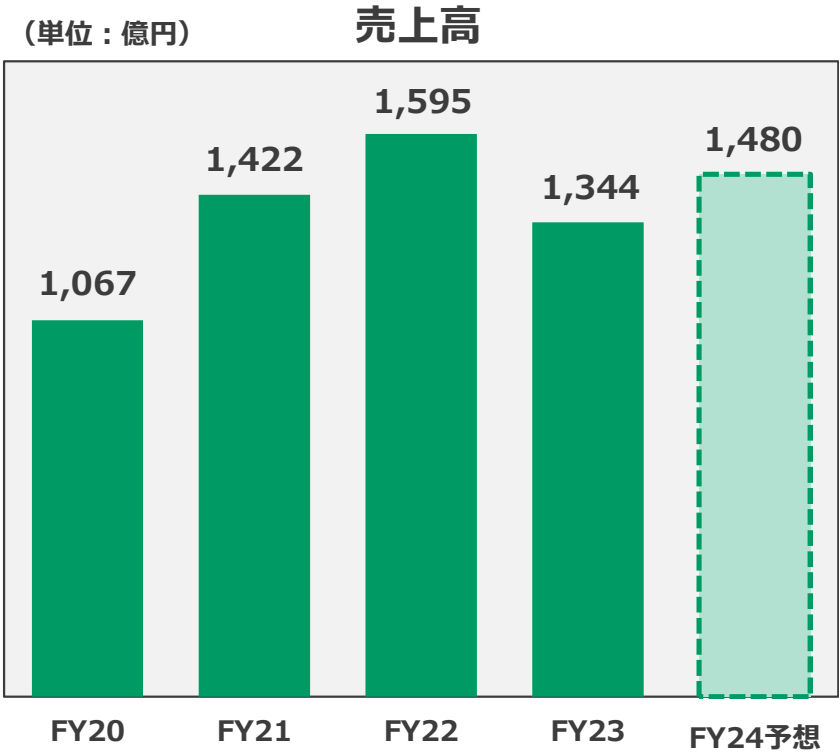
(単位：億円)



全社 業績予想（2024/5/10発表から変更なし）

FY24	売上高	営業利益	営業利益率
通期予想	1,480億円（+136）	175億円（+44）	11.8%（+2.0）

（）は前年同期比



セグメント利益

セグメント利益率

全社 業績予想（2024/5/10発表から変更なし）

(単位：億円)

		24/3月期 実績	25/3月期業績予想			
			上期実績	通期予想	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	全体	1,344	758	1,480	+ 136	+ 10%
	自動機械	177	134	190	+ 13	+ 7%
	機 器	1,168	624	1,290	+ 122	+ 10%
営業利益 (営業利益率)		131 (9.8%)	92 (12.1%)	175 (11.8%)	+ 44	+ 33%
自動機械 (セグメント利益率)		30 (16.8%)	29 (21.9%)	33 (17.4%)	+ 3	+ 11%
機 器 (セグメント利益率)		148 (12.7%)	86 (13.7%)	188 (14.6%)	+ 40	+ 27%
経常利益		131	92	175	+ 44	+ 34%
当期純利益		83	63	118	+ 35	+ 41%

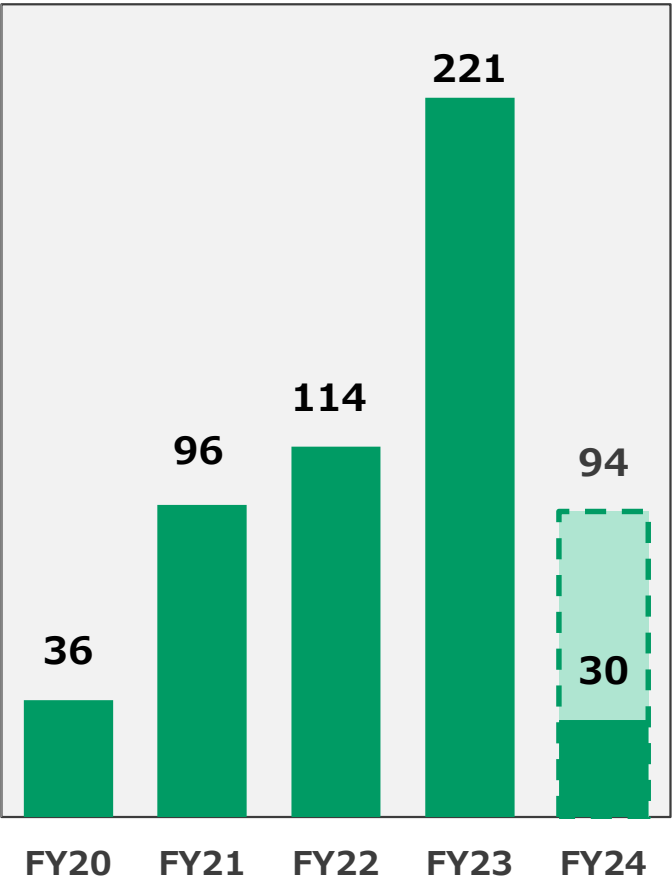
※想定為替レート：下期145.0円/米ドル 通期145.0円/米ドル

投資

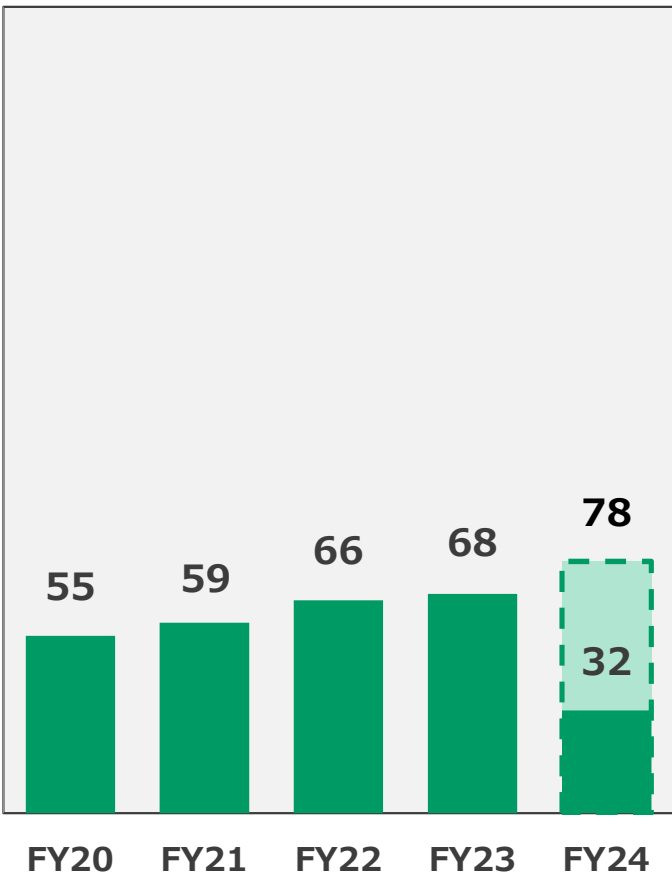


投資

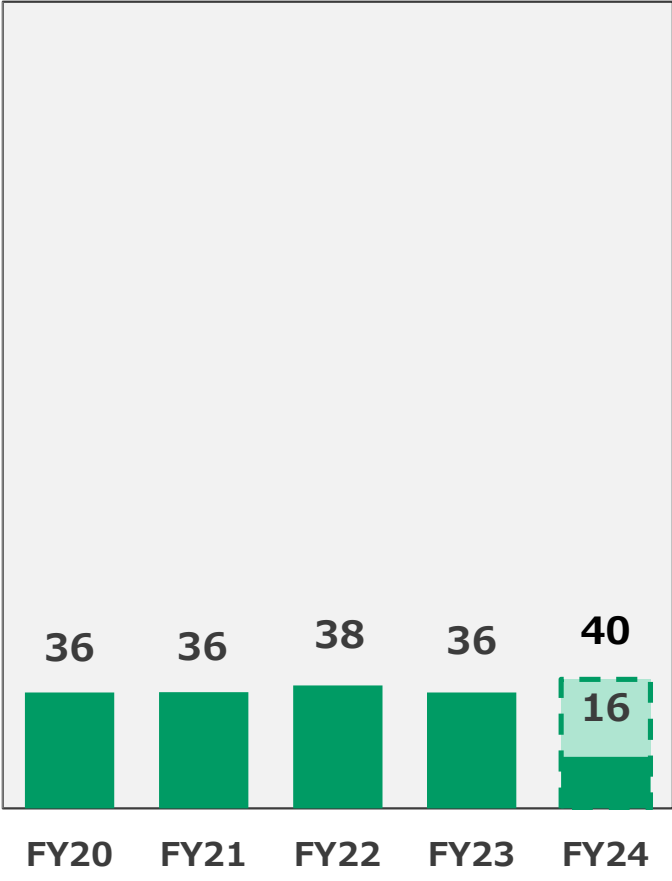
(単位：億円) 設備投資



減価償却



研究開発投資



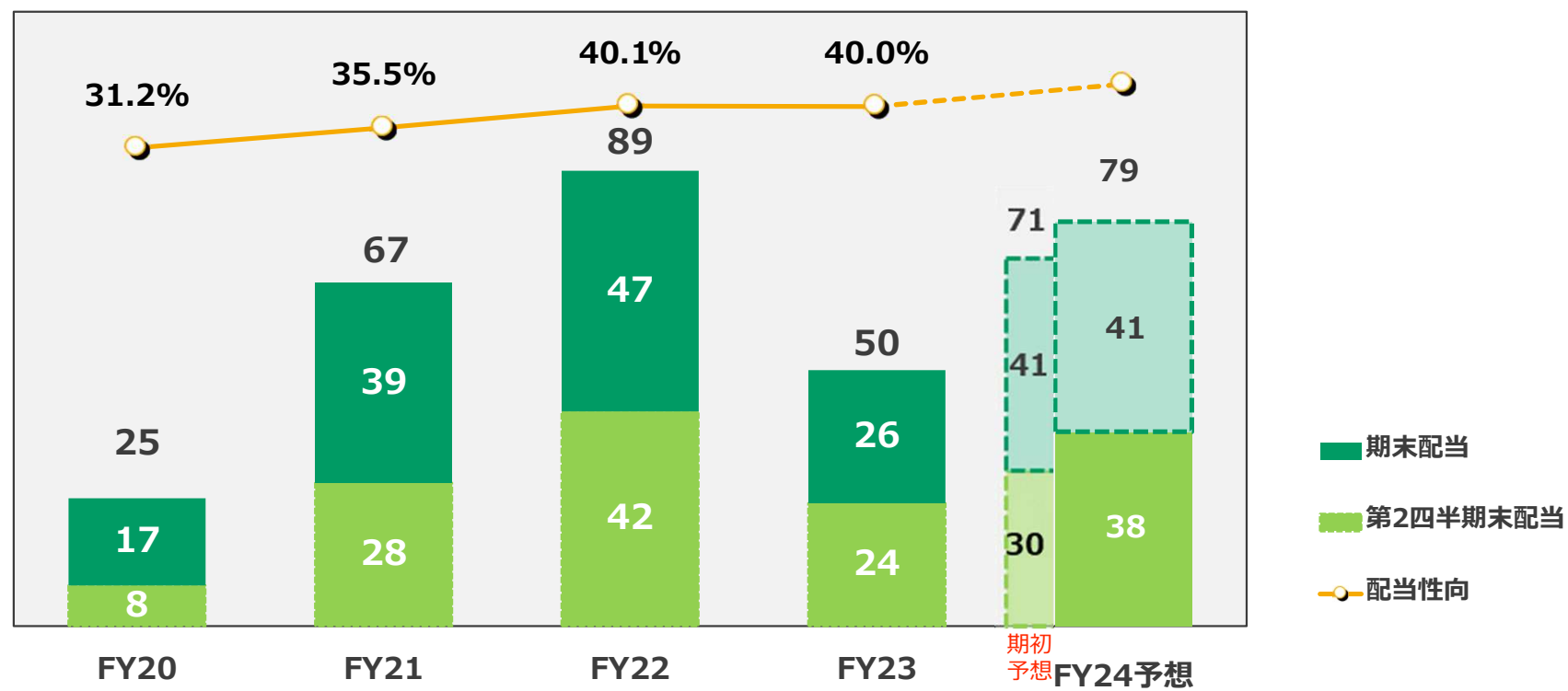
株主還元



配 当

2025年3月期配当 第2四半期末配当 1株につき38円

(単位：円)



成長に向けた取組みの状況

- 環境負荷低減型商品の拡充
- ワイヤレス対応機種の開発強化
- デュアルレーン対応三次元はんだ印刷機発売



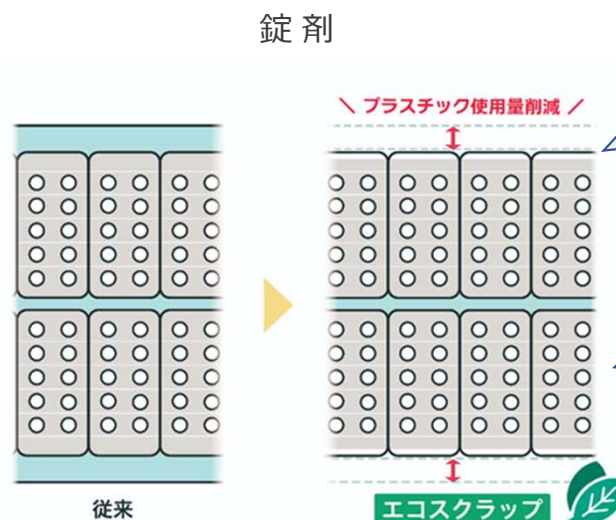
環境負荷低減型商品の拡充 ①

プラスチック使用量を抑えた“環境にやさしい医薬品包装の実用化”

ベーリンガーインゲルハイム製薬株式会社と連携し、医薬品の包装工程で発生するプラスチックごみを減らす独自開発の「エコスクラップ技術」を“世界で初めて”実用化



FPB-600E
(エコブリスタ/ECO BLISTER)



包装工程で発生する
プラスチックごみ
70%以上 削減 (従来比)

独自の新プラグ成形方式採用で
消費エネルギー量
80%削減 (従来比)

環境負荷低減型商品の拡充 ②

省エア商品としてパルスブローバルブを発売、豊富なラインナップで環境課題の解決に貢献

パルスブロー
バルブ

NEW

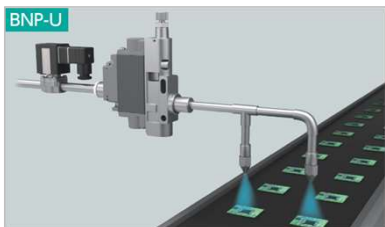


ガンタイプ

COMING SOON

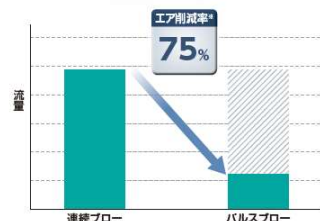


用途例：
コンベア上のワークの汚れ除去



■エア削減でEco

連続ブロー比 75%削減



■低圧でEco

使用圧力0.25MPaから
省エネ低圧化ラインに対応

■メンテナンスフリーでEco

信頼が高い長寿命電磁弁(4Gシリーズ)
の主弁部を採用しました。

小さな部品の汚れ除去



省エア/ 省電力



フィルタ

特殊エレメントで
圧力損失を低減



電磁弁

部品の特殊処理で
エア漏れを削減



制御弁

新設計コイルで
低消費電力化



増圧弁

必要な部分のみを
増圧、消費電力削減

高耐久 HPシリーズ HIGH PRODUCTIVITY

空気圧シリンダ



摺動部分の最適化により長寿命

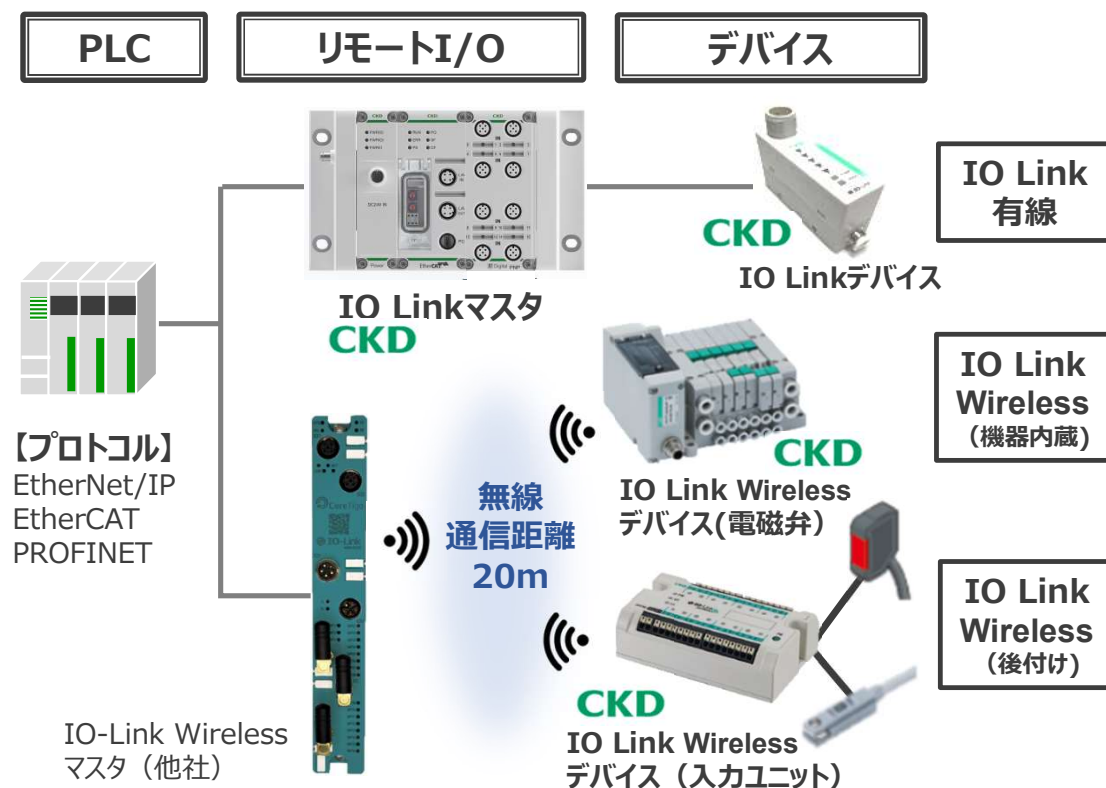
特殊配合による耐摩耗性パッキン
高頻度対応グリースの採用
シール機能の最適化



ワイヤレス対応機器の開発強化

ワイヤレス対応商品シリーズの拡充で、加速する“スマート工場化”に貢献

■ IO-Link Wirelessのシステム構成



■ 特徴

項目	IO-Link Wireless
規格	IEEE802.15.1
周波数	2.4GHz
通信距離	~20m
伝送速度	21kbps
ユニット(ノード)	40
サイクルタイム	5ms
信頼性	高

エラー発生率10億分の1※

途切れない無線
高い信頼性

※当社調べ。CKD製IO-Link Wireless
機器使用可能地域：日本、EU、USA

■ 使用例

Before ロボット機外配線



After ロボット機外配線なし。電源のみ機内配線



機外配線がなくなり、断線リスク低減

デュアルレーン対応三次元はんだ印刷機発売

三次元はんだ印刷機のデュアルレーン対応機種発売で **“生産性の向上”** に貢献

■「VP9000シリーズ」として初の**デュアルレーン機**

1台の装置内に2つの独立した搬送レーンを持つことで
同時に2枚の基板を平行して処理が可能に



三次元はんだ印刷検査機
「VP9000LD」

“シングル機の機能をそのままに標準搭載”

マルチ分解能の“切り替え機能”
“異物検査機能” “CE規格対応”
“大型モニター化” “高いアクセス性とメンテナンス性”

“全ての部品で環境負荷が低い物資を使用”



SMT(表面実装技術を用いて、電子部品を基板に取り付ける方法)ライン



【資料取り扱い上の注意】

将来見通しに関する注意事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

数字の処理について

記載された金額は単位未満を四捨五入、比率は円単位で計算した結果を四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。